



# チーフストラテジスト 瀧山裕二の Weekly Letter

## 第7回「国際通貨基金(IMF)世界経済見通し」

1月30日に国際通貨基金は世界経済見通し（2024年1月改訂版）を発表しました。この世界経済見通しは四半期ごと（3か月毎）に発表されるため、金融市場では世界の経済状況を予想する見通しとして注目されています。今週は、この見通しについてお伝えしたいと思います。

今回の見通しを抜粋した下の表をご覧ください。

### ～世界経済の成長率予測～

世界経済の成長率は2024年が3.1%、2025年が3.2%と予測され、昨年10月の予測と比べて24年が0.2%ポイントの上方修正、25年が変わらずとなりました。この変動要因としては、米国や主要新興国の経済が予想以上に底堅く推移したことや中国が景気刺激策を取り始めたことなどが挙げられています。ただ、これらの予測値はインフレに対処するための各国中央銀行の高金利政策や財政政策の縮小などが重石となり、2000年から2019年までの成長率の平均値3.8%には届かない予測となりました。

今後の下振れ要因としては、中東紛争の激化やロシアのウクライナ侵攻による原燃料や食糧の再値上げで、インフレ基調が継続し金融引き締めが続くことなどを挙げています。現状では大半の地域でインフレ率が予想以上に低下してきているため、世界経済がハードランディング（激しい景気後退）となる可能性は低い想定となっています。

### ～地域別の経済成長予測～

地域別でみると、先進国・地域は23年1.6%成長、24年1.5%成長、25年1.8%成長と今年まで成長率は低下しますが、来年は延びる予測となっています。一方、新興市場国・開発途上国は、23年4.1%成長、24年4.1%成長、25年4.2%と緩やかな成長が見込まれています。

### ～主要国の経済成長予測～

主要先進国の予測を見てみましょう。

米国の成長率は23年2.5%成長、24年2.1%成長、25年1.7%成長の予測となっています。金融引き締めの効果が徐々に出てくることや財政面での引き締め、労働市場の需給緩和による消費低迷などを見込み、24年以降の成長率は減速する予測となっています。

ユーロ圏は23年0.5%成長、24年0.9%成長、25年1.7%成長の予測となっています。ロシアのウクライナ侵攻の影響が大きく、24年までは1%未満の成長となりそうですが、25年にはエネルギー価格上昇の悪影響は一巡し成長率が上向き予測となっています。

日本は23年1.9%成長、24年0.9%成長、25年0.8%成長と予測されています。23年はコロナ禍が終息し経済活動が復活したことや、円安効果でインバウンド需要が大きく伸びたことから成長率は1%を大きく上回りましたが、24年以降は前年の好調要因が減退すると見込み、1%程度の緩やかな伸びにとどまる予測となっています。

## ～IMF予測は強気？～

IMFの予測は1月19日のウィークリーレターでお伝えした「世界銀行」の経済予測（2024年世界の経済成長率：+2.4%）より全般的に強気の予測となっています。この強気な予測は世界的に物価上昇率の低下スピードが想定以上に早く、各国の中央銀行の金融政策が引き締めから緩和方向へ転換すると想定しているためです。これは、米国をはじめとする市場関係者が考えているシナリオと同じようです。ただ、2月13日に発表された米国の直近の消費者物価指数（1月）は、市場予想の2.9%を上回る3.1%となりました。インフレ基調の中では人々の気持ちが高まり、沈静化には時間がかかるのでしょうか？FRB（連邦準備制度理事会）の金融政策が市場想定通りの緩和状況に進むのかどうか、3月19～20日に開催されるFOMC（公開市場委員会）の結果を待ちたいと思います。

世界経済見通し(WEO)による成長率予測 (%)			
地域・国名	2023年(推定)	2024年(予測)	2025年(予測)
世界	3.1(0.1)	3.1(0.2)	3.2(0.0)
先進国・地域	1.6(0.1)	1.5(0.1)	1.8(0.0)
米国	2.5(0.4)	2.1(0.6)	1.7(-0.1)
ユーロ圏	0.5(-0.2)	0.9(-0.3)	1.7(-0.1)
日本	1.9(-0.1)	0.9(-0.1)	0.8(0.2)
新興市場国・発展途上国	4.1(0.1)	4.1(0.1)	4.2(0.1)
中国	5.2(0.2)	4.6(0.4)	4.1(0.0)
インド (注)	6.7(0.4)	6.5(0.2)	6.5(0.2)
ブラジル	3.1(0.0)	1.7(0.2)	1.9(0.0)

(注) インドについてはデータと予測が財政年度ベース(4月～翌年3月)で表示

※2023年は推計値、2024、2025年は予測値。  
カッコ内は前回(2023年10月)からの改定幅(%ポイント) (国際通貨基金 参照)